

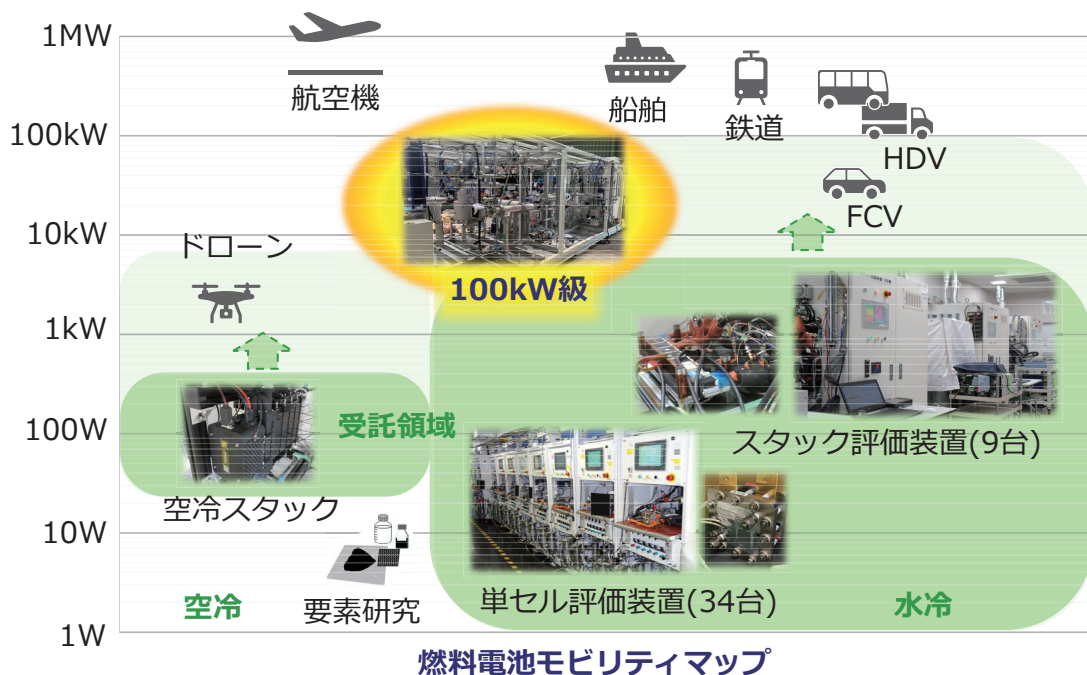
燃料電池モビリティの普及に向けた技術課題の解決

2030年から本格普及が期待されるFCV・HDV等のモビリティ用燃料電池の開発に向けて、単セルから100kW級スタックの評価までサポートします

固体高分子形燃料電池（PEFC）開発の課題とKRIの取り組み

お客様の課題解決に向け、提案・試験・解析など多角的なサポートを行います

- PEFCを開発する上で、デバイス（単セル・スタック）としての特性を評価するための人・設備などリソースの確保や、技術蓄積が大きな課題です。
- KRIでは、PEFC評価のリソース拡充や長年の受託を通じて培った解析技術により、お客様が求められる条件を実現する事が可能な試験体制を構築しています。



KRI水素供給設備
貯蔵量：5800 m³

ご提案

標準的な発電試験に加え、燃料電池モビリティの実環境を模擬した試験に対応します

モビリティ用燃料電池の特殊環境耐性試験

- HDVに求められる120℃での作動温度を想定した高温特性試験が可能です。
- 寒冷地（-30℃）での起動や温泉地での走行によるコンタミ被毒を模擬した特殊環境での試験が可能です。



空冷方式スタックシステムの各種評価

- 空冷方式スタックの単体試験から、温度分布などのシステム解析まで対応可能です。

